

arcserve®

マンガ
で
解説!

あなたの職場の大切なデータを 守る方法

Arcserve シリーズで実現する簡単・安心データ保護

業界ごとのバックアップに関するお悩みを解決します!

病院編…P4

学校編…P2

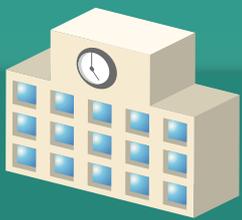
製造業編…P6

官公庁編…P10

建設業編…P8

損害保険企業編…P12

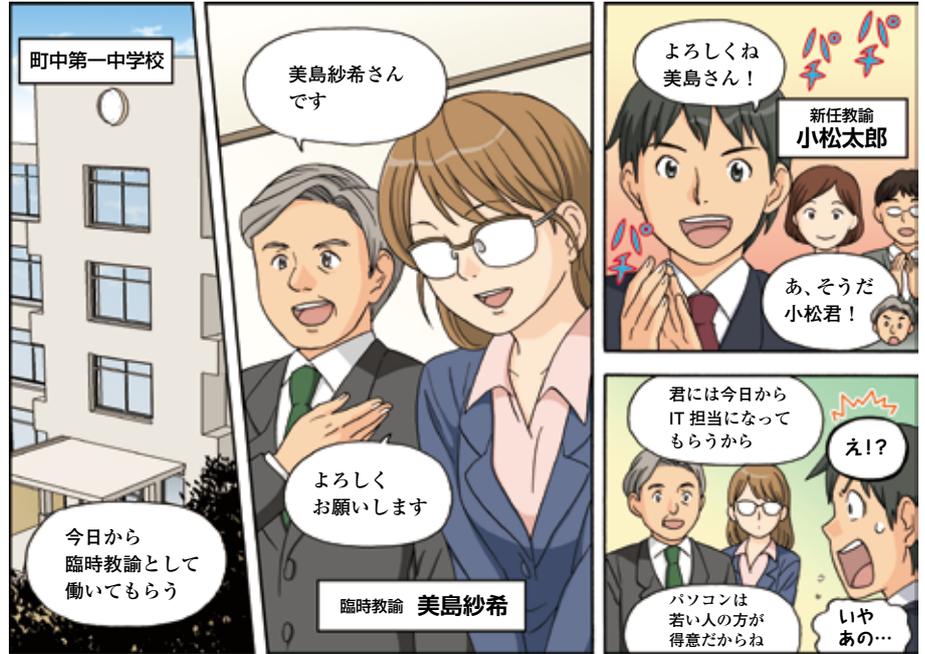


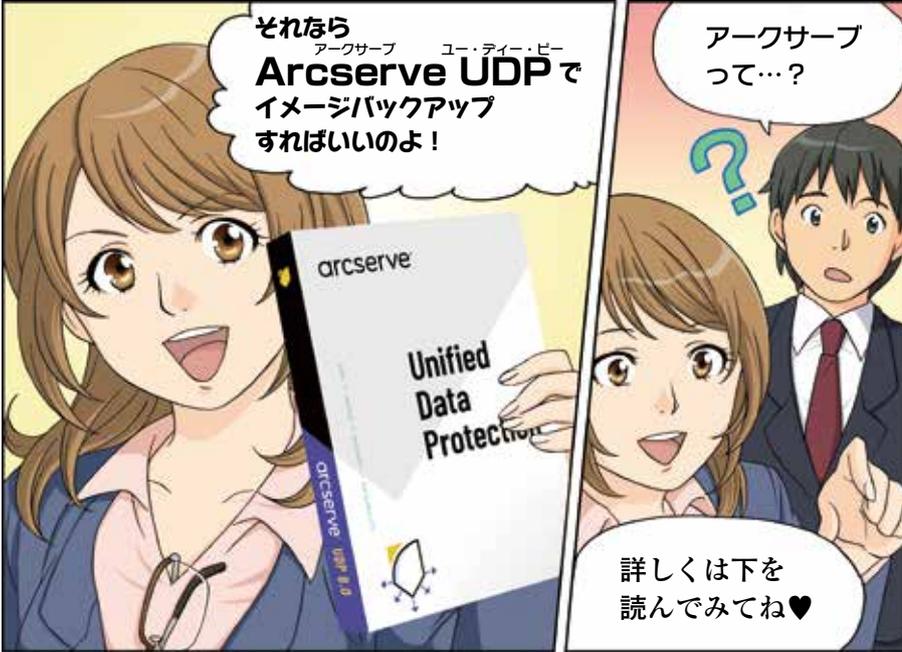


学校編

深夜まで終わらない
バックアップを
簡単に効率化！

企業や官公庁、学校において「データ」の重要性が増しています。その一方で、大切なデータを守る「バックアップ」や「リカバリ」については、実際に導入・活用できていないケースも多いのではないのでしょうか。ここでは、とある学校を舞台に、データバックアップの課題とそれを簡単に解決する方法をご紹介します。





Arcserve UDP

誰でも使える!
簡単さを追求した
イメージバックアップ



導入、設定、運用、すべてが簡単だから、誰でもできるのよ!

Arcserve UDPの『設定』は、バックアップ先を指定して保存するだけ! 手間をとことん省いた設定方法なので、誰でも簡単に運用開始できます。また、テープ装置や専用サーバを必要としないので、『導入』自体に手間取ることもありません。

運用開始後は、Webブラウザからいつでもバックアップ状況を確認でき、ファイル単位のリストア(データの復元)も行えます。煩わしいテープ交換も必要ないので、『運用』はとても楽チン。さらにシステムの復旧操作も、復旧用CDから起動するだけです。わずか7クリックで誰でも簡単にできるようになっています。

変更したデータだけをバックアップするから、時間がかからないわ!

手作業でデータをまるごとコピーしてバックアップをとる方法は、すぐにディスク容量が限界にきてしまいますし、何より時間がかかります。

Arcserve UDP は、Arcserve 独自の技術により、一つのファイルの中の変更されたデータ(増分)だけをバックアップし続けることができるので、バックアップ容量が少なく、バックアップに時間もかかりません。また、あらかじめ決めた世代数を保つように、一番古いデータと二番目に古いデータを自動的に合成する機能もあるので、ディスク使用量を最小化することも可能です。

オプションが不要だから、余計なコストは不要よ!

バックアップ運用に必要な機能がすべて標準搭載されているので、既存の環境にソフトウェアを導入するだけ。追加でサーバを立てたり、テープ装置を新規に購入する必要はありません。

さらに、他のイメージバックアップ製品ではオプション購入になってしまうような、異なるサーバへ復旧(ベアメタル復旧)する機能も標準で備えているほか、年間サポートも含まれているので、費用面・サポート面でも安心して導入いただけます。



あっという間に
「バックアップ完了」!
誰でも使える簡単ツールよ





Arcserve High Availability

簡単・低価格!
レプリケーションの
デファクトスタンダード



レプリケーションで、大切なデータをばっちり守るのよ!

医療現場では、来院者の病状や検査結果といった大切なデータを日々更新・管理しています。こうしたデータに何かあつては、病院の存亡はもとより、患者の生命に関わることになりかねません。随時更新されるデータは常に保護する必要があります。しかし、最新のデータを手動でコピーしたり、その都度バックアップするのは限界があります。

その点、Arcserve High Availabilityは、更新されていくデータを、ほぼリアルタイムに自動で他のサーバへ複製・保存することができます。もし、アプリケーションやサーバそのものが故障してしまっても、データの複製が別の場所で保存されているので安心、というわけです。更新頻度が高いと、その分ヒューマンエラーが起こる可能性が高くなりますから、その対策としてレプリケーションはとも有効です。

もしもの時のために「冗長化」しておいてね!

もしシステム障害が起こっても、診察業務に影響が出ないよう『冗長化』をしておきましょう。

一般的に障害発生時には、ハードウェアの交換やデータのリストアが必要になりますが、Arcserve High Availabilityがあれば、リストア作業の必要なく、複製先のデータにアクセスを切り替えるだけで業務を継続することが可能になります。自動切り替え運用も可能なので、安心してご利用いただけます。

お手頃価格で運用できるようになるわよ!

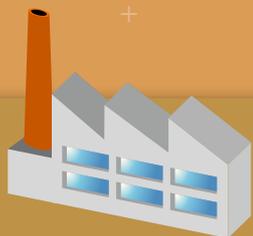
「クラスタ」には専用のサーバやソフトの入れ替え導入が必要になり、手間も掛かる上、高額になってしまいます。

その点、Arcserve High Availabilityは、汎用サーバで運用可能です。つまり既存環境の中に後付で導入することができるのです。余計なハードウェア購入コストなどが掛からないので、その分費用を抑えられることはもちろん、環境を整える手間が発生することもなく、とてもお手軽です。



手軽で安心!
コストを抑えて誰でも使える
「冗長化」ツール





製造業編

BCPを見据えて
遠隔地に
簡単データ転送!

企業や官公庁、学校において「データ」の重要性が増しています。その一方で、大切なデータを守る「バックアップ」や「リカバリ」については、実際に導入・活用できていないケースも多いのではないのでしょうか。ここでは、とある工場を舞台に、データバックアップの課題とそれを簡単に解決する方法をご紹介します。



社長
ご苦労いただき
ありがとうございます
ございます

真田製造 社長
真田 利彦

いやいや、ご苦労様
工場も順調そうで
良かったよ



ところで
この工場では
「BCP対策」は
考えているのかな？

真田製造 C工場 工場長
戸田 夏雄

もちろんです！
バックアップ
データを定期的に
営業所に
預けています



…例えばの話だが

この工場と
営業所がある
△△県全域が災害に
見舞われた場合
どうなるのかな？

え？

ふう



それはきっと
ダメになるでしょうね

何!?
それは
まずいだろっ



もっと
遠隔地に送るように
しましょうか

他の工場もきっと
似たような状況
なんだろうなあ…



一度
本社に帰って
検討してみるよ



…社長、
データの遠隔地転送を
全工場で行くと
相当な費用がかかります

それに復旧用のデータは
数週間前のものになりますし、
ここはハードウェアの
入れ替えを検討するのが
一番かと…

真田製造 情報システム部
田村 賢一



ハードウェアか…
しかしそれも
そこそこ費用は
かかるだろうしなあ…

何かあってからでは
遅いし…
できる限り早く体制を
整えたいのだが…



どうする
べきか…

ブーン

!?



誰!?

ブーン



Arcserve Replication

簡単・低価格!
レプリケーションの
デファクトスタンダード



既存環境でそのまま運用可能よ!

Arcserve Replicationの場合、システムの入替えは必要ありません。既存環境にインストールして、どのデータをどこに複製するかを設定するだけで、自動的に遠隔地へデータを複製・保存することができます。拠点それぞれの設定も一元的に管理できるので、導入だけでなく運用管理もとても簡単です。



通信回線は遅くても大丈夫なの!

通信回線が遅い事務所や、通常業務で使うネットワークに影響をおよぼしたくない拠点も存在します。通常、拠点全体でのデータバックアップとなると、一度に大量のデータを扱うことになり、回線を逼迫する問題が発生します。その場合、バックアップが間に合わないといった問題にもなりかねません。

ですが Arcserve Replicationなら、インターネットを介した低帯域の回線でもデータを確実に転送することができる数多くの機能を備えています。転送するデータ量そのものを最小化するのはもちろん、事前に回線の利用状況をチェックした上で、最適な帯域幅、時間帯でデータを転送するためのアセスメントモードが備わっています。



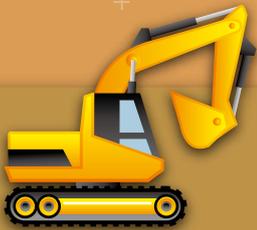
お手頃価格で簡単「BCP対策」よ!

一般的にレプリケーションソフトは、大企業を主な対象としていて、高額であることが多いのですが、Arcserve Replicationは、中堅・中小企業の皆さまにも向けたお手頃価格の製品です。また、導入・運用がとても簡単なので、新たな教育コストなど人的コストも掛かりません。簡単にBCP対策を行えるツールとして最適な製品なのです。



既存環境はそのままに!
コストを抑えて
誰でもできる「BCP」対策!

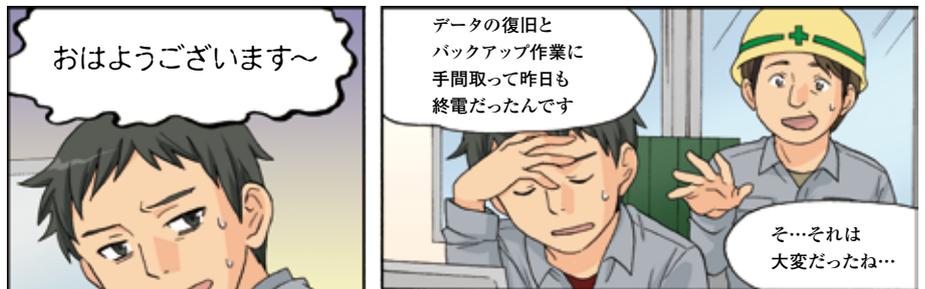




建設業編

専任のIT担当者が
いない場合でも
安心、ラクラク！

企業や官公庁、学校において「データ」の重要性が増しています。その一方で、大切なデータを守る「バックアップ」や「リカバリ」については、実際に導入・活用できていないケースも多いのではないのでしょうか。ここでは、とある建築現場を舞台に、データバックアップの課題とそれを簡単に解決する方法をご紹介します。





Arcserve Replication

簡単・低価格!
レプリケーションの
デファクトスタンダード



手間いらずの簡単バックアップよ!

バックアップ作業はデータが大きくなれば、それに比例して時間もかかるようになります。ファイルサーバから手作業でデータをコピーしていたのでは、時間がいくらあっても足りません。そんなときオススメしたいのが、ファイルサーバで手軽にレプリケーションを実現できる「Arcserve Replication for File Server」です。このソフトを導入すれば、わざわざバックアップという「作業」をする必要がありません。ファイルサーバ内のデータに変更があれば、自動で同じファイルを複製してくれるので、そのまま放っておけばよいのです。複製データのバックアップ先は外付けHDDや、ネットワークでデータを転送するNASにも対応します。



リストア時間を待たずに業務を再開ね!

もし災害など予測できない事故が起きて、運用サーバが故障してしまったら、会社の業務は完全にストップしてしまいます。一般的なバックアップソフトを使った場合、通常はサーバを修理した後にリストアを行って、サーバに元データを戻す作業が必要になりますが、これでは修理のための部品調達などで、どうしても復旧までに時間がかかってしまいます。その点、「Arcserve Replication for File Server」は、複製データを作成しています。つまりお使いのデータと同じものが、別の外付けHDDやネットワーク経由の記憶装置(NAS)に常に用意されているのです。そのため、それらをPCや代替りのサーバに付け替えるだけで取り急ぎ業務を再開できます。



ファイル単位で世代管理が可能よ。ファイルを消しても安心ね!

Windows Serverに標準で搭載されている「共有フォルダのシャドウ・コピー」機能で定期的にシャドウ・コピーを取っておけば、ファイル単位の復旧も簡単に行えます。これにより、万が一操作ミスなどで、ついうっかりファイルを消してしまったり、上書きしてしまったりしたときにも、きちんと元に戻すことが可能です。



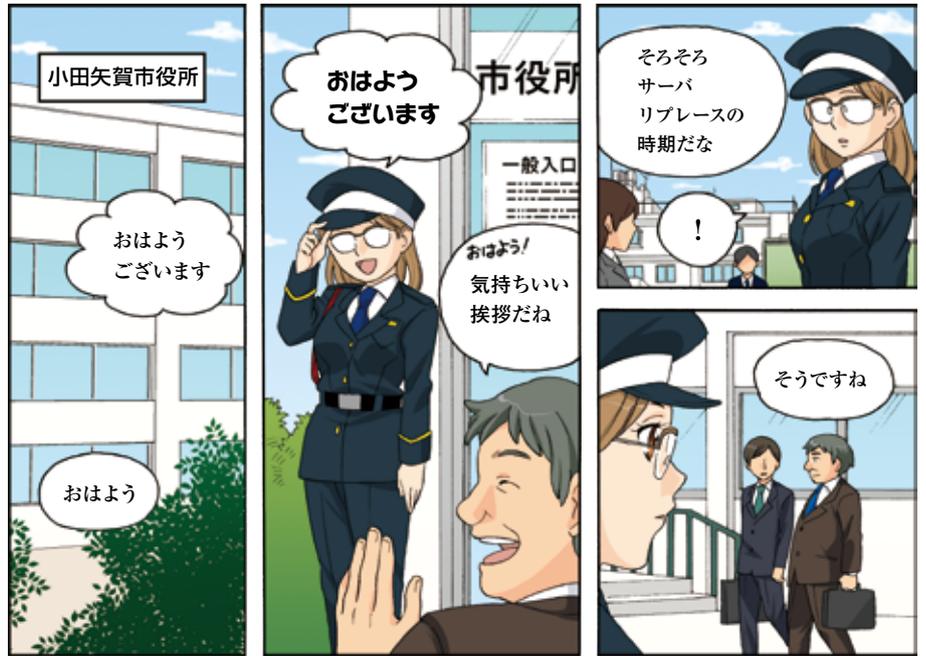


官公庁編

仮想環境の
バックアップや
復旧もお任せ！

企業や官公庁、学校において「データ」の重要性が増えています。その一方で、大切なデータを守る「バックアップ」や「リカバリ」については、実際に導入・活用できていないケースも多いのではないのでしょうか。

ここでは、とある市役所を舞台に、データバックアップの課題とそれを簡単に解決する方法をご紹介します。





Arcserve UDP



仮想マシンが多くても問題ないわ! エージェントレスで一気にバックアップよ!

Arcserve UDPは、仮想マシン1つ1つにわざわざソフトウェア(エージェント)を入れなくてもバックアップを取ってくれるエージェントレス型。そのため、導入の手間がかかりません。事前に準備するのはバックアップサーバのみ。ここに本製品をインストールします。あとは製品がVMware ESXやVMware vCenterから自動的に見つけてくれる仮想マシンを登録すれば、設定に従ってバックアップを始めてくれるので、とてもラクチンです。それぞれの仮想マシンのバックアップを一元管理し、まとめて運用できるから、管理者の負担は大幅に軽減されます。



変更箇所だけバックアップよ! データ量が増えがちな仮想環境でも安心なの

一般的なバックアップソフトでは、データ容量が大きくなるほどバックアップ時間もかかります。またデータが大容量化すると、いつバックアップ用ディスク一杯になってしまうか分からず、管理者も小まめなチェックを強いられます。

でもArcserve UDPを利用したバックアップ運用なら、そんな心配も必要ありません。Arcserve独自の技術でバックアップデータを自動的にメンテナンスするため、フルバックアップは最初の1回だけ。変更箇所の増分だけ保存するため、バックアップ用ディスクの使用容量を最小限に抑え、効率のよい運用が行えます。



仮想マシン丸ごとでも、1つのファイルだけでも復旧可能よ!

Arcserve UDPは仮想マシン単位で丸ごとリカバリするだけでなく、1ファイル単位でのリストア、さらに各種アプリケーション(Microsoft SQL Server、Microsoft Exchange Server)ごとのリストアにも対応しています。特にユニークなのが、バックアップソフトの利用経験の少ない方でも簡単に操作できるWindows標準エクスプローラからのリストアです。使い慣れたエクスプローラ画面から、戻したいファイルをドラッグ&ドロップするだけで元に戻すことができます。「うっかり消したファイルを元に戻したい」という要望が多くなれば、特定のユーザーに適切な権限を与えて、セルフメンテナンスを行うことも可能です。



仮想化環境の
バックアップはこれ!



損害保険企業編

大容量データの
高速バックアップや
NAS対応も！

企業や官公庁、学校において「データ」の重要性が増しています。その一方で、大切なデータを守る「バックアップ」や「リカバリ」については、実際に導入・活用できていないケースも多いのではないのでしょうか。

ここでは、とある損害保険企業を舞台に、データバックアップの課題とそれを簡単に解決する方法をご紹介します。





Arcserve Backup

データ保護の大黒柱!
柔軟なバックアップと一元管理



ファイル数が多くても、大容量でもサクサクよ!

Arcserve Backupには、環境に応じてバックアップやリストアをさらに高速化したり、より利便性を高めたり、魅力的な機能が数多く用意されています。たとえばファイル数が多く大容量な環境を素早くバックアップするには「Enterprise Module」のイメージオプション機能が最適です。1つ1つのデータを個別にバックアップするのではなく、ドライブ全体を1つの大きなファイルとみなしてバックアップするため、無駄な処理を減らせます。これにより大幅なスピードアップが可能になります。イメージオプションを使うと、通常のバックアップよりも8倍以上も速くなったという実績があります。環境によって異なりますので、「30日間無償トライアル」でぜひお試しください。



重複排除で容量そのものを減らしてバックアップするのよ!

文書やメール、画像など、日々増え続けていくさまざまな種類の大容量データは、効率よくバックアップしていく必要があります。Arcserve Backupに標準搭載されている「データ重複排除」機能は、ほとんど内容を変えずに別名で保存したWordファイルの重複部分なども排除し、バックアップ先のディスク使用量を圧縮することができます。これにより、追加ディスク購入などのコストを抑えることができますので、コスト削減でお悩みの方にもおすすめです。



NASの大容量化にも安心対応よ!

バックアップする際にNASを使うと、社内ネットワーク(LAN)を圧迫し、日常業務などに影響が出る場合があります。そのため、バックアップ作業を実施する場合は日中を避けたり、休日などに行うなど、運用に工夫を凝らしている企業もあるのではないのでしょうか。Arcserve BackupのNDMP NAS Optionを使えば、LANを経由せずに、NASからテープドライブ装置へと直接バックアップが行えます。バックアップの際にはNDMPコマンドという操作指令を送るデータだけが流れるため、LANの帯域にバックアップデータは流れず、NASの大容量化にも安心してバックアップが行えます。



大容量データのバックアップ!



価格 (税込)

Arcserve UDP (Unified Data Protection)

(税抜 ※カッコ内は総額表示) 本価格表以外にアカデミックライセンスのご用意があります。また、その他の複数年保守をご要望のお客様は、Web価格表を参照/ご相談ください。

エディション ^{*1}	サーバ単位 (Server)			ソケット単位 (Socket)		
	ライセンス+メンテナンス 1年	ライセンス+メンテナンス 5年 ^{*5}	サブスクリプションライセンス1年	ライセンス+メンテナンス 1年	ライセンス+メンテナンス 5年 ^{*5}	サブスクリプションライセンス1年
Advanced Edition	¥130,000 (¥141,000)	¥222,000 (¥244,200)	¥44,000 (¥48,400)	¥130,000 (¥141,000)	¥222,000 (¥244,200)	¥44,000 (¥48,400)
Advanced Edition for Nutanix ^{*2}	-	-	-	¥130,000 (¥141,000)	¥222,000 (¥244,200)	¥44,000 (¥48,400)
Premium Edition	-	-	-	¥258,000 (¥283,800)	¥438,000 (¥481,800)	¥87,200 (¥95,700)
Premium Plus Edition	-	-	-	¥386,000 (¥424,600)	¥654,000 (¥719,400)	¥131,800 (¥144,100)

エディション ^{*1}	容量単位 (1TB 単位) ^{*3}		クライアントPC用製品 ^{*1}	ライセンス+メンテナンス 1年	ライセンス+メンテナンス 5年 ^{*5}
	サブスクリプションライセンス 1年	サブスクリプションライセンス5年			
Advanced Edition	¥128,000 (¥140,800)	¥640,000 (¥704,000)	Workstation Edition 1本	¥13,400 (¥14,740)	¥22,600 (¥24,860)
Premium Edition	¥255,000 (¥280,500)	¥1,275,000 (¥1,402,500)	Workstation Edition 5本	¥53,000 (¥58,300)	¥93,000 (¥102,300)
Premium Plus Edition	¥382,000 (¥420,200)	¥1,910,000 (¥2,101,000)			

Arcserve UDP Cloud Hybrid ^{*6} - JAPAN EAST (東日本リージョン)		サブスクリプションライセンス1年
Arcserve UDP Cloud Hybrid - Storage - 1 TB - JAPAN EAST ^{*7}		¥213,000 (¥234,300)
Arcserve UDP Cloud Hybrid - Additional Storage - 1 TB - JAPAN EAST		¥213,000 (¥234,300)
Arcserve UDP Cloud Hybrid - Compute - 1 vCPU & 4 GB RAM - JAPAN EAST ^{*8}		¥70,000 (¥77,000)
Arcserve UDP Cloud Hybrid - JAPAN WEST (西日本リージョン)		
Arcserve UDP Cloud Hybrid - Storage - 4 TB - JAPAN WEST ^{*7}		¥904,000 (¥994,400)
Arcserve UDP Cloud Hybrid - Additional Storage - 1 TB - JAPAN WEST		¥226,000 (¥248,600)

メディアキット ^{*4}
¥15,000 (¥16,500)

※1 新規購入の際、ライセンスおよびメンテナンスの購入が必要です。詳細は弊社 Web サイトをご覧ください。 ※2 Nutanix 専用のライセンスです。 ※3 バックアップ(または複製)対象の総データ量に対して課金されるライセンスです。本価格は、1TB(テラバイト)に対するライセンス金額です。 ※4 ライセンスプログラムで購入した製品をインストールするためのメディアです。ライセンスプログラムを初めてご購入いただく際はメディアキットをご購入いただくか、もしくはモジュールを Web からダウンロードしてご利用ください。 ※5 メンテナンス/サブスクリプション期間は、ご購入時の製品のバージョンのサポートをお約束するものではありません。サポートの対象バージョンは、その時点でサポートする製品バージョンに準じます。サポート対象バージョンは、[サポートライフサイクル情報](#)で確認できます。 ※6 Arcserve UDP Cloud Hybrid を使用する際は Arcserve UDP ライセンス、または Arcserve UDP Appliance を使用して一次バックアップを行う必要があります。既に Arcserve UDP を使用した一次バックアップ環境がある場合は追加購入は不要です。Microsoft 365 を Arcserve UDP Cloud Hybrid にバックアップする場合は、Arcserve UDP のライセンスおよび Arcserve UDP Appliance は不要です。 ※7 Arcserve UDP Cloud Hybrid を使用する際は Storage 1 TB - JAPAN EAST / Storage 4 TB - JAPAN WEST のいずれかの購入が必要です。各リージョンの Additional Storage 1 TB を追加購入すれば、バックアップ データの複製先のストレージ容量を拡張できます。 ※8 仮想マシン/ハイパバイスラント VM 用に高性能のインスタンスが必要な場合、Compute を複数ご購入ください。

Arcserve Backup

本価格表以外にアカデミックライセンスのご用意があります。また、4年、5年保守をご要望のお客様は別途お問合せ下さい。

製品名	パッケージ製品 ^{*1}		ライセンスプログラム製品 ^{*2}				
	価格(税抜)	総額(税込価格)	ライセンス+1年メンテナンス		ライセンス+3年メンテナンス		
			価格(税抜)	総額(税込価格)	価格(税抜)	総額(税込価格)	
ベース製品	Arcserve Backup for Windows	¥167,000	¥183,700	¥192,000	¥221,200	¥276,000	¥303,600
	Enterprise Module	¥262,000	¥288,200	¥302,000	¥332,200	¥434,000	¥477,400
	Tape Library Option	¥155,000	¥170,500	¥179,000	¥196,900	¥257,000	¥282,700
	Disaster Recovery Option	¥98,000	¥107,800	¥113,000	¥124,300	¥163,000	¥179,300
オプション製品	SAN Option	¥220,000	¥242,000	¥253,000	¥278,300	¥363,000	¥399,300
	SAN Secondary Server Bundle	¥220,000	¥242,000	¥253,000	¥278,300	¥363,000	¥399,300
	NDMP NAS Option	¥221,000	¥243,100	¥255,000	¥280,500	¥367,000	¥403,700
	Central Management Option	¥262,000	¥288,200	¥302,000	¥332,200	¥434,000	¥477,400
	Global Dashboard (per Managed site)	¥34,000	¥37,400	¥38,400	¥42,400	¥55,200	¥60,720
エージェント製品	Guest Based Virtual Machines Agent Bundle	¥61,000	¥67,100	¥70,300	¥77,330	¥100,900	¥110,990
	VM Agent per Host License ^{*3}	¥220,000	¥242,000	¥253,000	¥278,300	¥363,000	¥399,300
	Agent for Open Files	¥109,000	¥119,900	¥126,000	¥138,600	¥182,000	¥200,200
	Client Agent for Windows	¥61,000	¥67,100	¥70,300	¥77,330	¥100,900	¥110,990
	Client Agent for Linux	¥61,000	¥67,100	¥70,300	¥77,330	¥100,900	¥110,990
	Client Agent for UNIX	¥109,000	¥119,900	¥126,000	¥138,600	¥182,000	¥200,200
	Agent for Oracle	¥109,000	¥119,900	¥126,000	¥138,600	¥182,000	¥200,200
	Agent for Microsoft SQL	¥109,000	¥119,900	¥126,000	¥138,600	¥182,000	¥200,200
	Agent for Microsoft Exchange	¥109,000	¥119,900	¥126,000	¥138,600	¥182,000	¥200,200
	Agent for Microsoft SharePoint	¥109,000	¥119,900	¥126,000	¥138,600	¥182,000	¥200,200
	Agent for Lotus Domino	¥109,000	¥119,900	¥126,000	¥138,600	¥182,000	¥200,200
	Linux Agent for Oracle	¥155,000	¥170,500	¥179,000	¥196,900	¥257,000	¥282,700
UNIX Agent for Oracle	¥220,000	¥242,000	¥253,000	¥278,300	¥363,000	¥399,300	

Arcserve Replication / High Availability

製品名	パッケージ製品*1 (メンテナンス別)	ライセンスプログラム製品*2				
		ライセンス+1年メンテナンス		ライセンス+3年メンテナンス		
ファイルサーバ専用版*3						
Arcserve Replication for Windows	¥109,000	¥119,900	¥131,000	¥144,100	¥175,000	¥192,500
Arcserve High Availability for Windows	-	-	¥253,000	¥278,300	¥349,000	¥383,900
標準版						
Arcserve Replication for Windows						
Standard	-	-	¥220,000	¥242,000	¥304,000	¥334,000
Enterprise	-	-	¥421,000	¥463,100	¥581,000	¥639,100
Virtual Machines*4	1本ライセンス	-	¥111,000	¥122,210	¥153,300	¥168,630
	5本パックライセンス	-	¥333,000	¥366,300	¥459,000	¥504,900
	VM Protection per Host License*5	-	¥443,000	¥487,300	¥611,000	¥672,100
Arcserve Replication for Linux Server OS						
Linux Server OS	-	-	¥220,000	¥242,000	¥304,000	¥334,000
Virtual Machines*4	1本ライセンス	-	¥111,000	¥122,210	¥153,300	¥168,630
	5本パックライセンス	-	¥333,000	¥366,300	¥459,000	¥504,900
Arcserve High Availability for Windows						
Standard	-	-	¥442,000	¥486,200	¥610,000	¥671,000
Enterprise	-	-	¥532,000	¥585,200	¥734,000	¥807,400
Virtual Machines*4	1本ライセンス	-	¥222,000	¥244,200	¥306,000	¥336,600
	5本パックライセンス	-	¥665,000	¥731,500	¥917,000	¥1,008,700
	VM Protection per Host License*5	-	¥665,000	¥731,500	¥917,000	¥1,008,700
Arcserve High Availability for Linux Server OS						
Linux Server OS	-	-	¥442,000	¥486,200	¥610,000	¥671,000
Virtual Machines*4	1本ライセンス	-	¥222,000	¥244,200	¥306,000	¥336,600
	5本パックライセンス	-	¥665,000	¥731,500	¥917,000	¥1,008,700

※1 テクニカルサポートへお問い合わせいただくには、インシデントパックをご購入ください。テクニカルサポート(チョイスサポートプログラム)の詳細はサポートページでご確認ください。 ※2 新規購入の際、ライセンスおよびメンテナンスの購入が必要です。掲載の価格は、ライセンスと1/3年メンテナンスの合計です。なお、ライセンスプログラム製品のメンテナンスにはメンテナンス期間中の製品アップグレードと、テクニカルサポート(平日9:00-17:30)が含まれています。 ※3 データベースのレプリケーションや無停止テスト機能をご利用いただくには、標準版をご購入ください。 ※4 仮想マシン(ゲストOS)に本製品をインストールする場合に利用するライセンスです。 ※5 仮想ホスト単位のライセンスで、仮想ホスト上の仮想マシンの数に制限はありません。

メディアキット、チョイスサポートプログラム

メディアキット*4	価格(税抜)		総額(税込価格)	
License Program Arcserve Media Kit	¥15,000		¥16,500	
チョイスサポートプログラム(CSP)	1年間契約		2年間契約	
	価格(税抜)	総額(税込価格)	価格(税抜)	総額(税込価格)
2インシデント テクニカルサポートパック	¥45,000	¥49,500	-	-
5インシデント テクニカルサポートパック	¥100,000	¥110,000	-	-
Arcserve バリュースポート	¥554,000	¥609,400	¥997,000	¥1096,700
Arcserve プリファードサイトサポート	¥3,330,000	¥3,663,000	¥5,980,000	¥6,578,000

※1 テクニカルサポートへお問い合わせいただくには、インシデントパックをご購入ください。テクニカルサポート(チョイスサポートプログラム)の詳細はサポートページでご確認ください。 ※2 新規購入の際、ライセンスおよびメンテナンスの購入が必要です。掲載の価格は、ライセンスと1/3年メンテナンスの合計です。なお、ライセンスプログラム製品のメンテナンスにはメンテナンス期間中の製品アップグレードと、テクニカルサポート(平日9:00-17:30)が含まれています。 ※3 仮想ホスト単位のライセンスで、仮想ホスト上の仮想マシンの数に制限はありません。 ※4 ライセンスプログラムで購入した製品をインストールするためのメディアです。ライセンスプログラムを初めてご購入いただく際はメディアキットをご購入いただくか、モジュールをWebからダウンロードしてご利用ください。

動作要件

各製品の動作要件の詳細、最新情報は弊社 Web サイトをご覧ください。

Arcserve UDP

Arcserve Backup

Arcserve Replication/High Availability



<https://support.arcserve.com/s/topic/0T01J00000013pdWAC/arcserve-udp?language=ja>

<https://support.arcserve.com/s/topic/0T01J00000013phWAC/arcserve-backup?language=ja>

<https://support.arcserve.com/s/topic/0T01J00000013piWAC/arcserve-rha?language=ja>

arcserve®

Arcserve Japan

お問い合わせ
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング
お問い合わせ窓口：Arcserve ジャパン ダイレクト (0120-410-116)
JapanDirect@arcserve.com

WEBサイト：www.arcserve.com/jp

※記載事項は変更になる場合がございます。 2024年7月現在